

普及センターだより

# 未来 ひだか

みらくる

2015年4月

日高農業改良普及センター



平成27年3月6日 「次代を担う農業青年ゼミナール」 開講式に集う青年たち

## 平成27年度 日高農業改良普及センターの活動について

日高農業改良普及センター 所長 福谷 洋一

日頃、普及センターの活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りまして心からお礼申し上げます。

いよいよ本格的に農作業がスタートしました。昨年は、日高の主力品目である軽種馬・施設園芸・肉用牛につきましては、前年を上回る実績となりました。本年につきましても、皆様方の努力が実りの多い結果につながるようご祈念申し上げます。

普及センターにおきましても、「食」「環境」「担い手」「地域」を育む4つの視点から日高振興局と連携し、次のような支援を行って参ります。

- (1) 地域力を活かした構造変革に向けた取組みへの支援
- (2) 豊かさや活力ある農村地域振興に向けた取組みへの支援
- (3) 農業の担い手育成・確保に向けた取組みへの支援
- (4) 食の安全・安心の確保に向けた取組みへの支援
- (5) 環境と調和した農業生産に向けた取組みへの支援

本年の体制といたしましても、本所・支所における地域係と地域係を支援する広域専門と広域部門の主査を配置し、地域農業の維持・活性化を支援して参りたいと思います。

# 参考にしよう！ 地域の活動事例

～詳細は日高農業改良普及センターホームページで紹介しています～

アドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

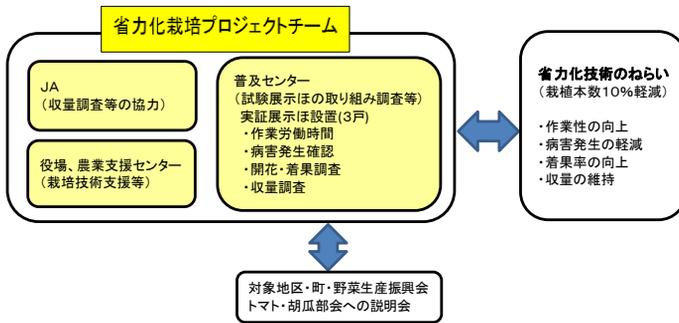
## トマトの省力化栽培方法 ～作業時間短縮！ 病害発生軽減！～【西部支所】

地域の高齢化・労働力不足という課題を解決するために、H25年に1戸の試験展示圃から始まった省力化技術（株間40cm→45cm）の取組ですが、H26年は3戸の試験展示圃を設置し、さらに3戸の方が省力化技術を導入、広がりが見られました。面積もH25年333㎡から、H26年は7,860㎡に拡大し、地域へ波及しています。

H26年はプロジェクトチームを立ち上げ、関係機関と連携し、JAの協力で収量や経済的データが得られ、省力化技術の裏付けとなりました。これで収量が落ちるのでは？という生産者の心配は払拭されました。取り組んだ生産者からは、「株間が広いので、脇芽かき等の管理作業が楽だった。」「受光態勢が良いので、生育が良かった。」等の意見が聞かれました。H27年に向け、「水稲移植期との作業競合を避けるために省力化栽培の面積を増やす。」という意見が出され、省力化技術が地域に浸透してきています。

表 省力化栽培に取り組んだ生産者の推移（H25→26年）

	戸数	ハウス棟数	面積(㎡)
平取町	1→5	1→20	333→7527
日高町	0→1	0→1	0→333
全体	1→6	1→21	333→7860

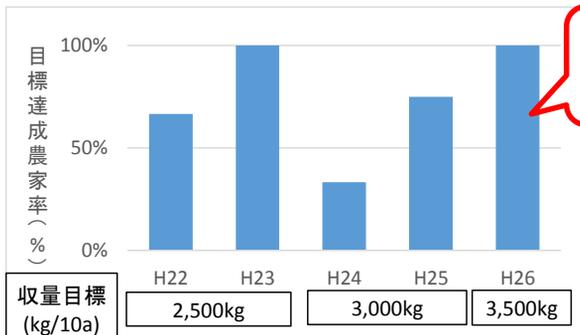


現地研修会の様子

## 浦河・様似の「夏いちご」は新規就農者も盛り立てる

【東部支所】

浦河・様似町では夏から秋にいちごを収穫する夏秋どり栽培（地元では「夏いちご」と呼んでいます）に取り組む、全道一の夏いちご産地となっています。両町では町内外から新規就農者を受け入れ、夏いちごの生産拡大を図っており、H26年までに各町に4名ずつの新規就農者が夏いちごを生産しています。普及センターでは関係機関と連携して新規就農者の定着に向けた支援として、栽培技術の指導や確認、研修会への呼びかけや勉強会の開催などの支援を行っています。浦河町の新規就農者は収量目標を設け着実に目標を達成し、平成26年は地域の平均収量を上回る3,500kg/10aの収量目標を全戸が達成しました。また、新規就農者の拡大と生産性の安定が夏いちごの販売拡大に大きく健闘しています。



適期作業の励行で目標達成！  
成果は自信に！！



夏いちご販売実績（JAひだか東）

浦河町新規就農者(4戸)の収量目標達成率

## 注目！ 地域の話題コーナー

次代を担う青年農業者ゼミナールを開催！！

【管内広域】

日高管内の農業青年が相互に協力し合い、課題を解決する資質を高める事をねらいとして、去る3月6日に「次代を担う青年農業者ゼミナール」が受講生13名でスタートしました。開講式では、JAしずない西村組合長からのエールを含めた講話を皮切りに今後2カ年間で、視察、座学、意見交換会が実施されます。

管内・外の専門家や先輩農業者、関係機関、農業改良普及センターが農業青年と共に、専門的知識を学びながら次代の農業を考えます。

「聴くこと・話し合うこと・考えること」がこの研修会のキーワードです。一方通行の研修ではなく、受講生が研修に参加し今後の方向性を導き出してもらえることを期待しています。



個性派揃いの青年たち。自己PRにも熱が入りました。

日高農業生産法人会として始動！！

【管内広域】

日高管内では平成23年から農業生産法人の経営者有志が集まり、情報交換会や研修会を行ってきました。

今年度は普及センター・振興局と連携し、「マーケティング」、「労務管理スキルアップ」等の研修会を実施しました。また、12月に開催した役員会で「日高農業生産法人会」（構成法人10社）を正式名称として活動していくことが決定しました。

今後も法人の運営に有益な情報を発信し、地域振興につながる活動を展開していくことが期待されます。



労務管理スキルアップ研修会の様子

優秀な繁殖成績の証し～和牛改良組合表彰

【新冠町・新ひだか町・浦河町】

平成26年度優の和牛改良組合表彰（主催：全国和牛登録協会）において、日高管内から3つの改良組合が表彰を受けました。分娩間隔実績値の部（対象：全国15組合）では浦河町改良組合が、分娩間隔・飼養管理技術の部（対象：全国5組合）では新ひだか町静内および新冠町生産改良組合が表彰されました。

今回の表彰結果は黒毛和種者の日々の努力の成果であると言えます。今後も日高の黒毛和種生産の強みとして今後も発展が期待されます。



新聞社の取材を受けた新冠町青木組合長（左）と渡辺組合長（右）

第2回農業普及活動高度化全国研究大会（東京）において、当センターが「軽種馬経営から黒毛和種への経営転換・複合化を支援」と題し発表を行いました。当日は日高普及センターを代表し浅石主査が発表を行い、日高管内の10年以上にわたる取り組みを題材に報告を行い、全国普及協議会町員会長賞を受賞しました。



職員の異動がありました

平成27年4月1日付け

〈よろしくお願ひします〉

本所

所長  
福谷 洋一  
初めての日高勤務となります。



本所

専門普及指導員  
田隈 篤夫  
お世話になります。ゴルフします。



東部支所

支所長  
藤田 雅久  
久しぶりの競馬を楽しみます。



東部支所

専門普及指導員  
宿田 望  
新農業を一緒にやります。



西部支所

普及職員  
大塚 美幸  
トマト勉強中です！



〈お世話になりました〉

転出先

本所	所長	山黒 良寛	上川農業改良普及センター 所長
本所	主査(人材育成)	山腰 和枝	退職
本所	専門普及指導員	松田 修	退職
本所	調査員	木元 信幸	石狩農業改良普及センター 石狩北部支所
東部支所	支所長	大久保 義幸	網走農業改良普及センター 紋別支所
東部支所	専門普及指導員	嵯峨 奈々子	胆振農業改良普及センター 東胆振支所

〈職・勤務地が変わります〉

変更内容

本所	主査(生産合理化組織化)	小林 靖幸	職名変更:主査(担い手)
西部支所	専門普及指導員	小柳 満美	勤務地異動:本所調整係

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521  
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高東部支所 TEL 0146-22-9347 FAX 0146-22-2559  
〒057-8558 浦河郡浦河町栄丘東通56号 日高振興局内

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918  
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>